

各 位

2023年2月14日

会 社 名 株 式 会 社 かんぽ 生 命 保 険
代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長 千 田 哲 也
(コード番号: 7181 東証プライム)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日の2022年3月期決算発表時(1株当たり当期純利益は2022年11月11日の2023年3月期第2四半期決算発表時)に開示した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績予想数値(2022年4月1日～2023年3月31日)の修正

(1) 修正の内容

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	6,220,000	160,000	71,000	180円67銭
今回発表予想 (B)	6,320,000	80,000	87,000	222円25銭
増減額 (B-A)	+100,000	△80,000	+16,000	—
増減率 (%)	+1.6%	△50.0%	+22.5%	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	6,454,208	356,113	158,062	375円14銭

(2) 修正の理由

経常収益は、当初連結業績予想策定時*と比較して、新契約獲得が想定を下回ることによる保険料等収入の減少を見込む一方、運用環境が好転したことにより資産運用収益が増加する見込みであ

ること、新型コロナウイルス感染症による入院保険金の支払による損益影響の一部を中立化するために危険準備金の繰入額を縮小する見込みであることから、上方修正します。

経常利益は、上記要因に加え、事業費の減少を見込むものの、有価証券の売却損等の発生によって資産運用費用が増加する見込みであること、新型コロナウイルス感染症による保険金支払等が増加する見込みであることから、下方修正します。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記要因に加え、有価証券の売却損益等の損益影響は価格変動準備金を戻入することで中立化することから、結果として、新型コロナウイルス感染症による保険金支払等が増加する見込みであるものの、運用環境が好転したことにより資産運用収益が増加する見込みであること、事業費が減少する見込みであることから、上方修正します。

※ 2022年5月13日公表の当初連結業績予想の策定に当たっては、2022年3月末の経済前提を使用。

2. 2023年3月期期末配当予想

当社は、2022年5月13日に2023年3月期配当予想について、年間配当金を1株あたり92円（期末配当金46円）と公表しておりますが、当該公表数値から変更はございません。

（注）上記の各数値は、本資料発表時現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上